

2009年度

科目名	倫理学概論A		
担当教員	林 進		
配当	文財2・人社2	コード	55940
開期	前期	講時	金曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	ヨーロッパの倫理思想概観		
目的と概要	ヨーロッパの倫理思想を古代から中世を経て近代のカントの辺まで概観する。		
成績評価法	学期末のレポート、各授業での小テスト、平常点で評価する。		
テキスト	プリント配布		
参考書	授業の中で紹介する		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
第1回 オリエンテーション——倫理学とは何か 第2回 古代ギリシアの倫理(1)——自然哲学から人間哲学へ(ソクラテス以前) 第3回 古代ギリシアの倫理(2)——ソクラテスとプラトン 第4回 古代ギリシアの倫理(3)——プラトンとアリストテレス 第5回 古代ギリシアの倫理(4)——アリストテレス 第6回 ヘレニズムとローマ帝国の倫理——個人主義的あるいは世界主義的倫理 第7回 キリスト教倫理(1)——ユダヤ教と原始キリスト教 第8回 キリスト教倫理(2)——教父哲学とスコラ哲学 第9回 近代の始まり——ルネサンスと宗教改革(プロテスタンティズムの倫理) 第10回 近代科学(哲学)の成立(1)——経験論(ベーコン、ロック、バークリー、ヒューム) 第11回 近代科学(哲学)の成立(2)——デカルトの合理論 第12回 カントの道徳論(1)——認識論を中心に(人間の認識能力には限界がある) 第13回 カントの道徳論(2)——実践理性と定言命法 第14回 自由と必然——人間に自由はあるのか(スピノザとカントとニーチェの説) 第15回 総括			